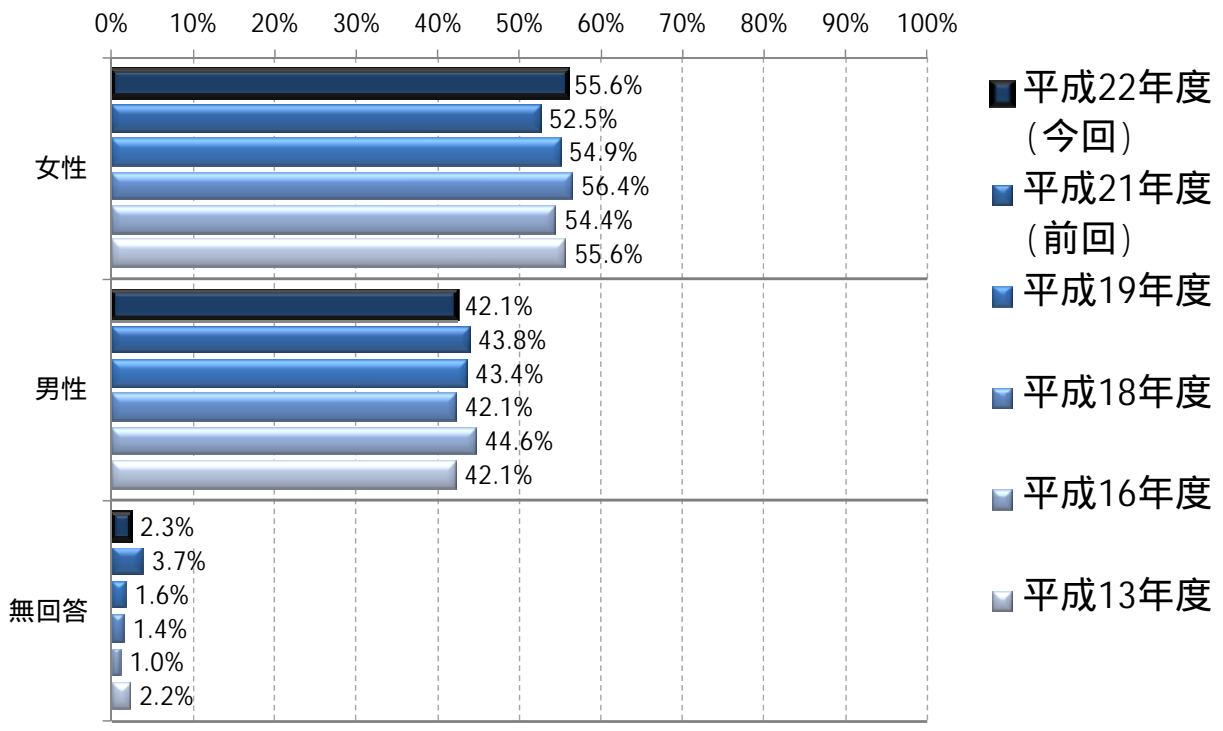


市民意識調査の回答者の特性

1 基本属性

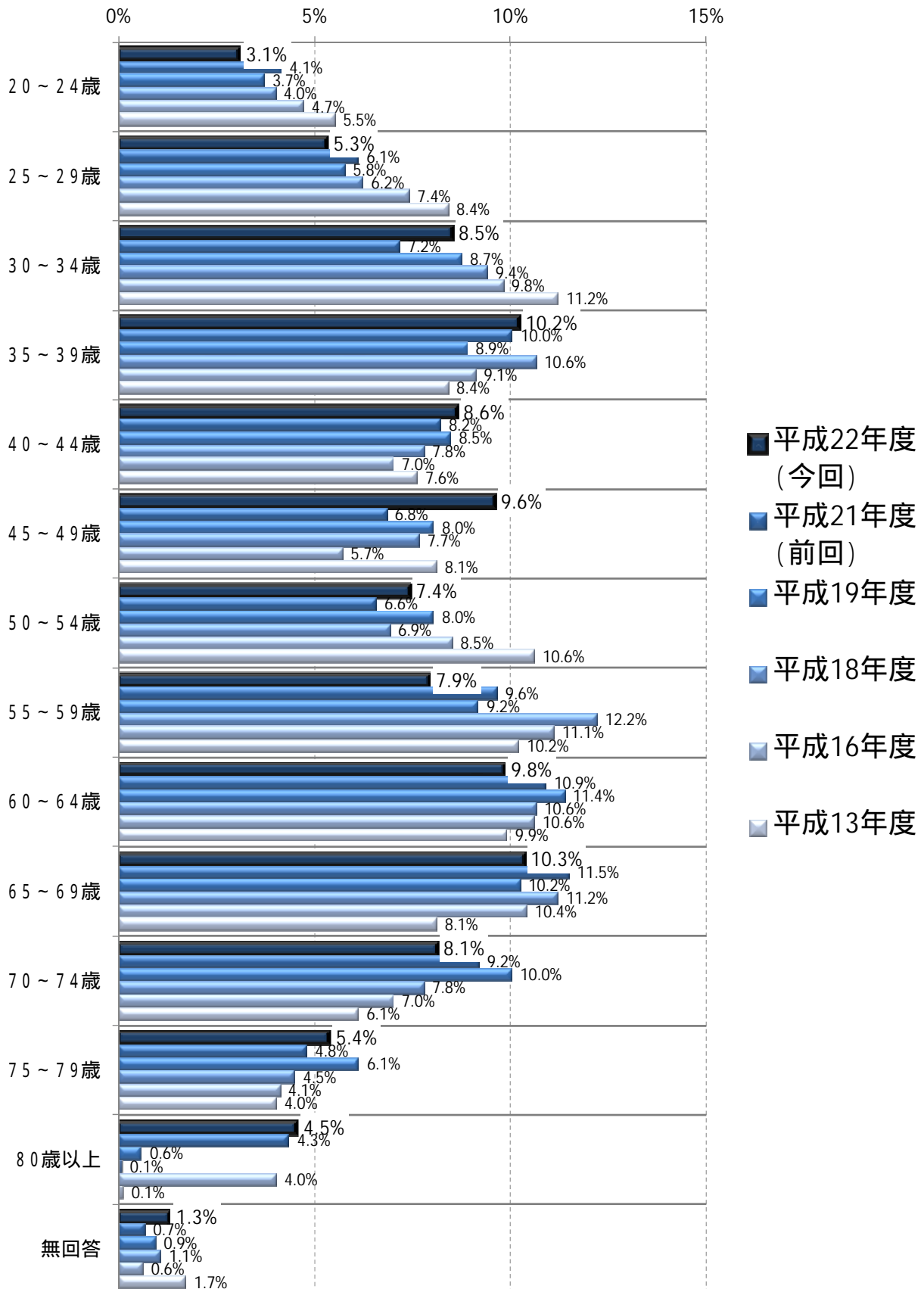
1 - 1 性別

回答者の性別をみると、“男性”(42.1%)よりも、“女性”(52.5%)の割合が高く、前回調査とほぼ同様の傾向を示しています。



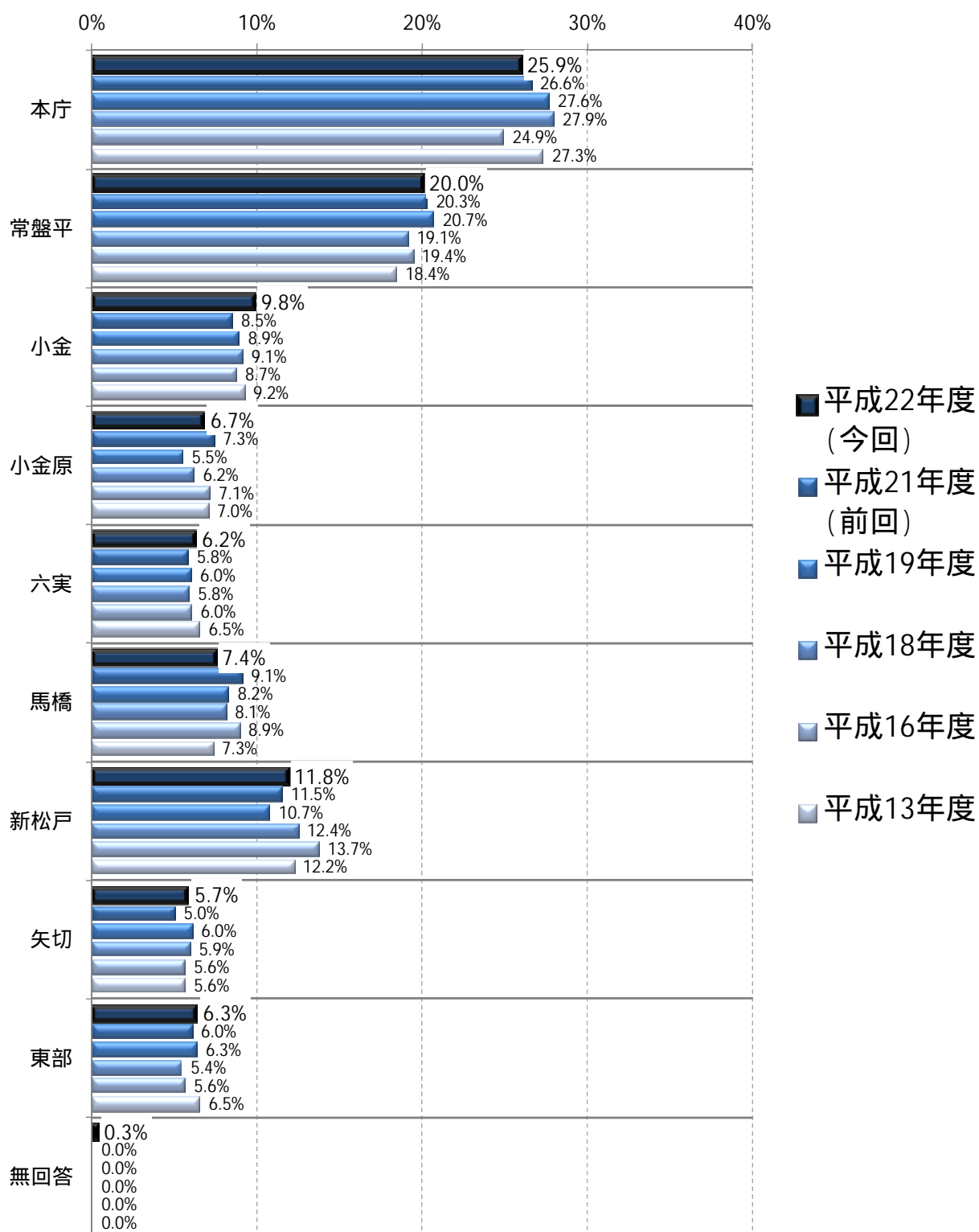
1 - 2 年齢

回答者の年齢は、前回調査に比べると“45～49歳”、“30～34歳”など、30・40代の占める割合が高くなっています。一方で、“55～59歳”から“70～74歳”までの割合は前回調査よりも低くなっています。



1 - 3 居住地区

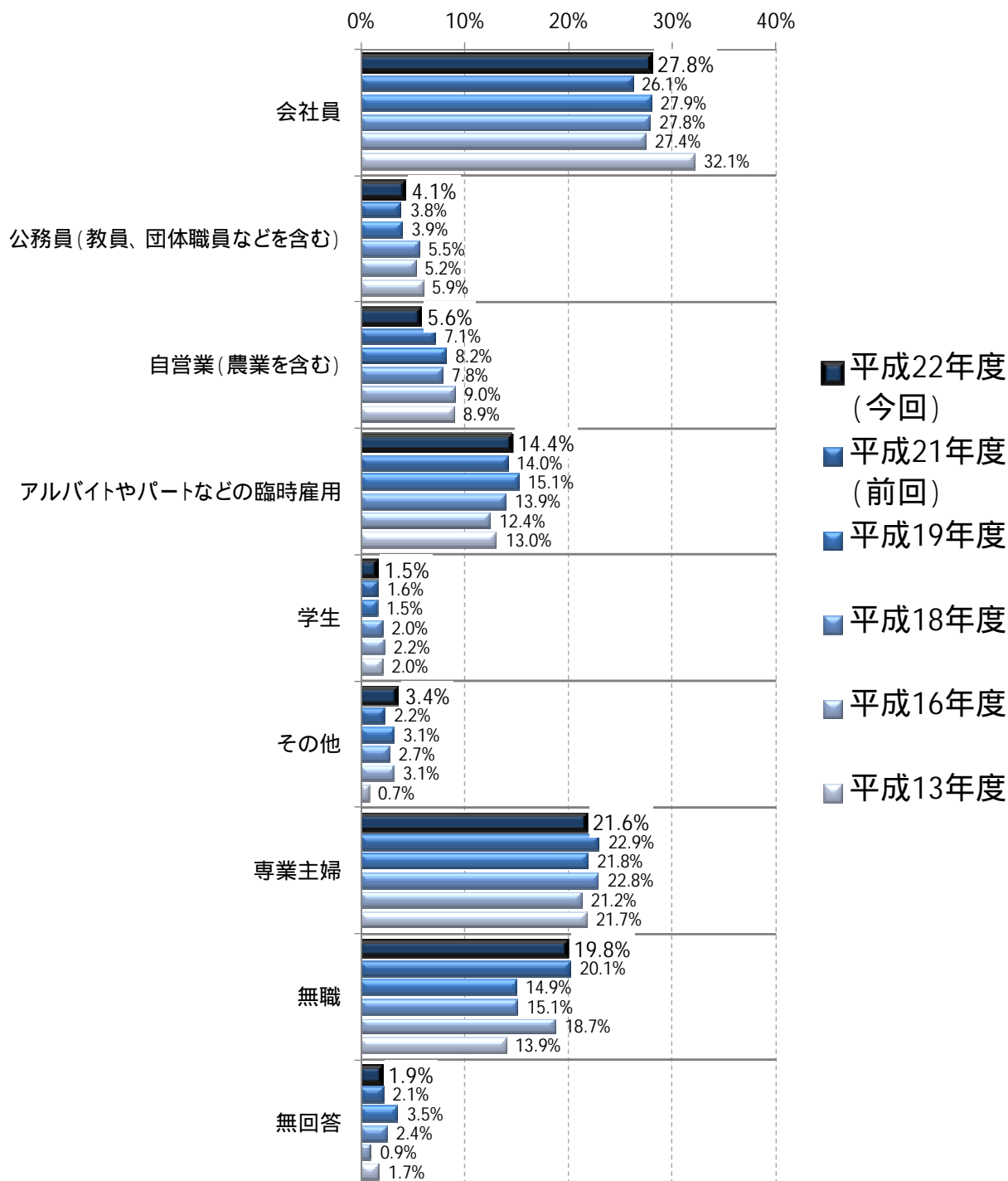
地区(支所管区)別に回答者の居住地区についてみると、“本庁”が 25.9%と回答者全体の約 1/4 を占めています。次いで“常盤平”(20.0%)、“新松戸”(11.8%)となっており、概ね前回調査と同様の傾向を示しています。



1 - 4 就労状況

(1) 職業

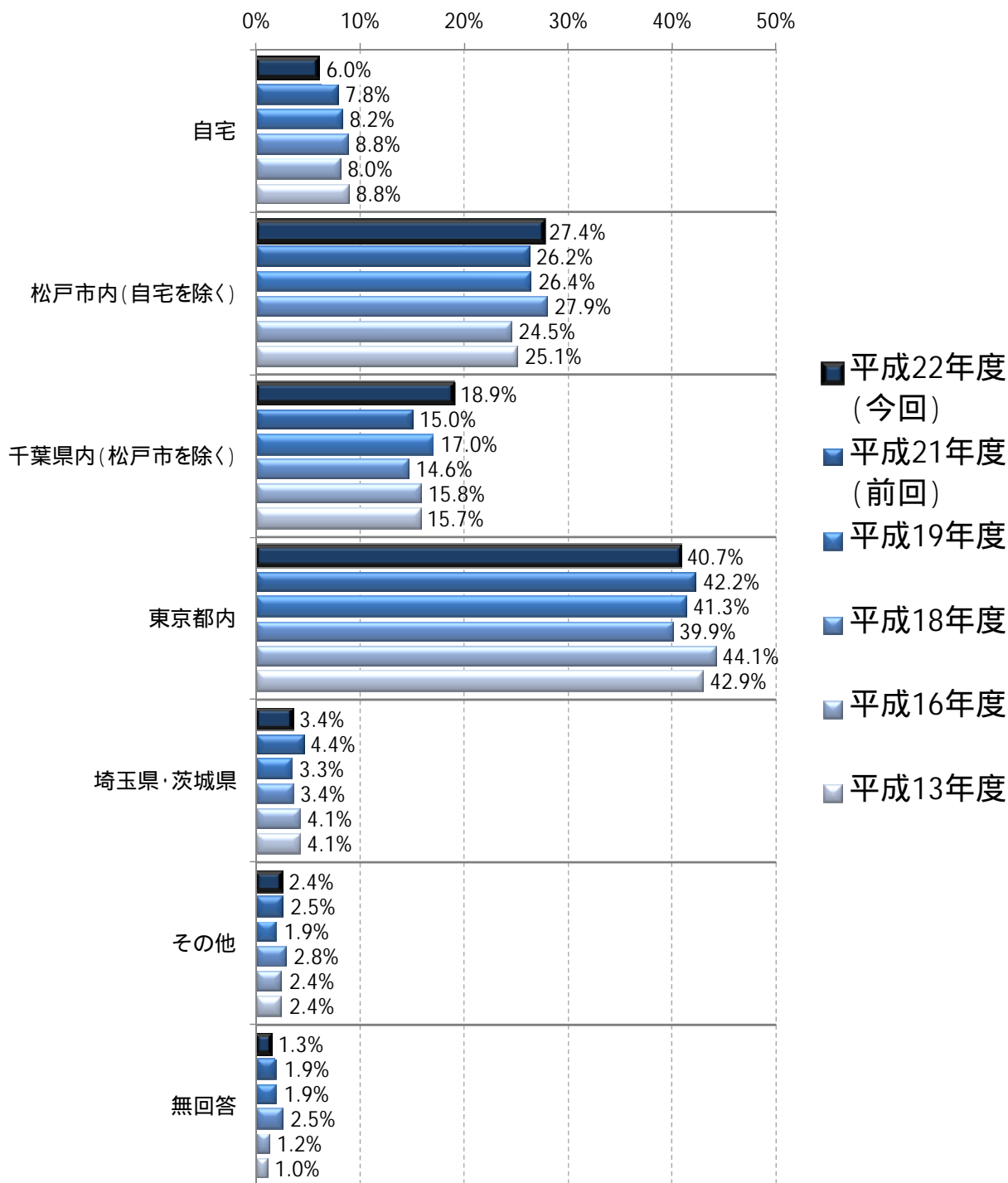
回答者の職業をみると、“会社員”(27.8%)と“専業主婦”(21.6%)がそれぞれ 2 割以上を占めて多くなっています。次いで“無職”(19.8%)で続いており、職業の構成はほぼ前回調査と同様となっています。



(2) 勤務地・通学地

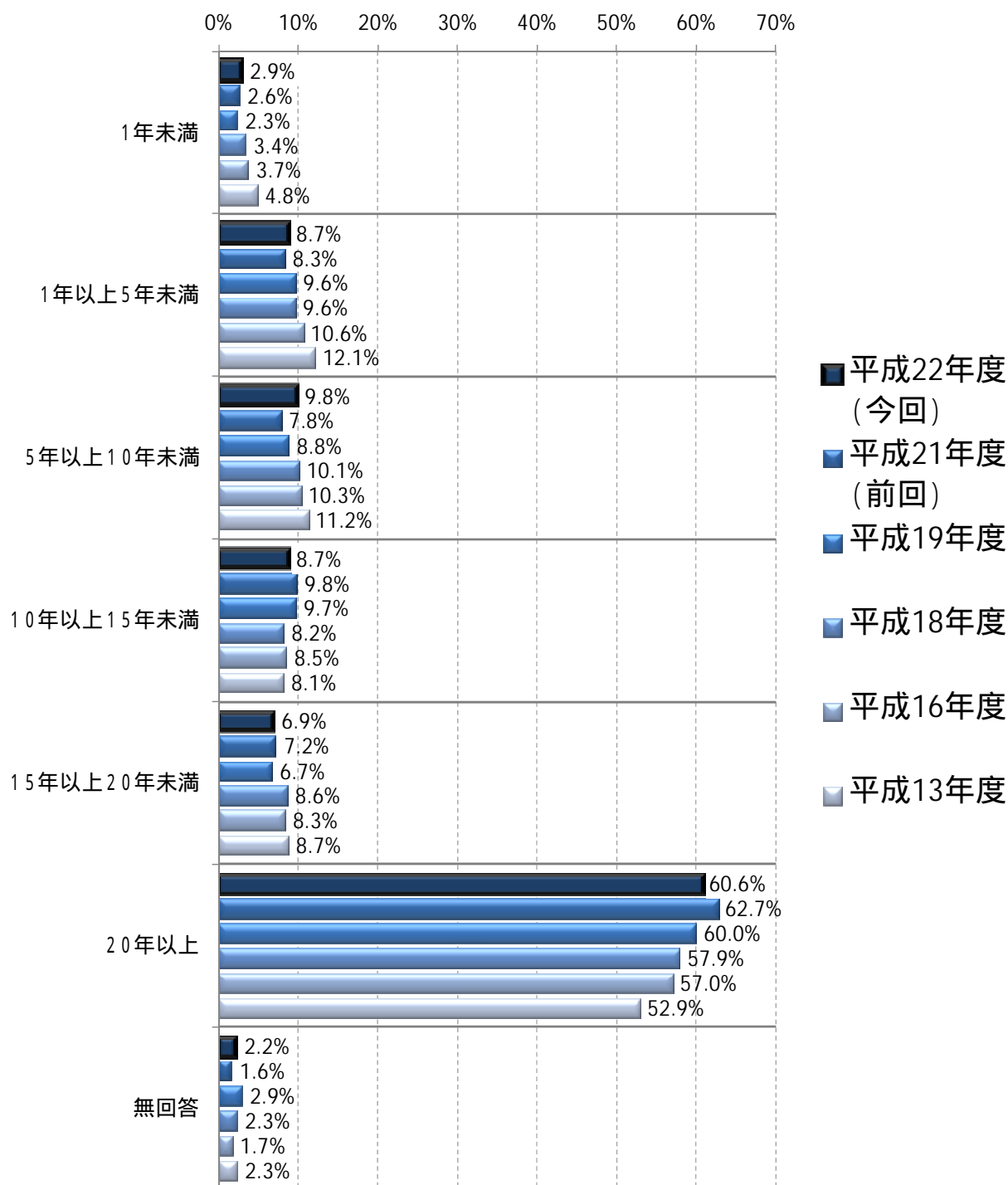
職業に対する回答が“専業主婦”と“無職”だった回答者を除いた 890 人に対して、勤務地・通学地について聞いたところ、前回調査と同様に回答者の 4 割は“東京都内”(40.7%)としています。次いで“松戸市内(自宅を除く)”が 27.4%となっており、ほぼ前回と同様の傾向を示しています。

前回に比べると、“千葉県内(松戸市を除く)”への回答の割合がやや増えています。



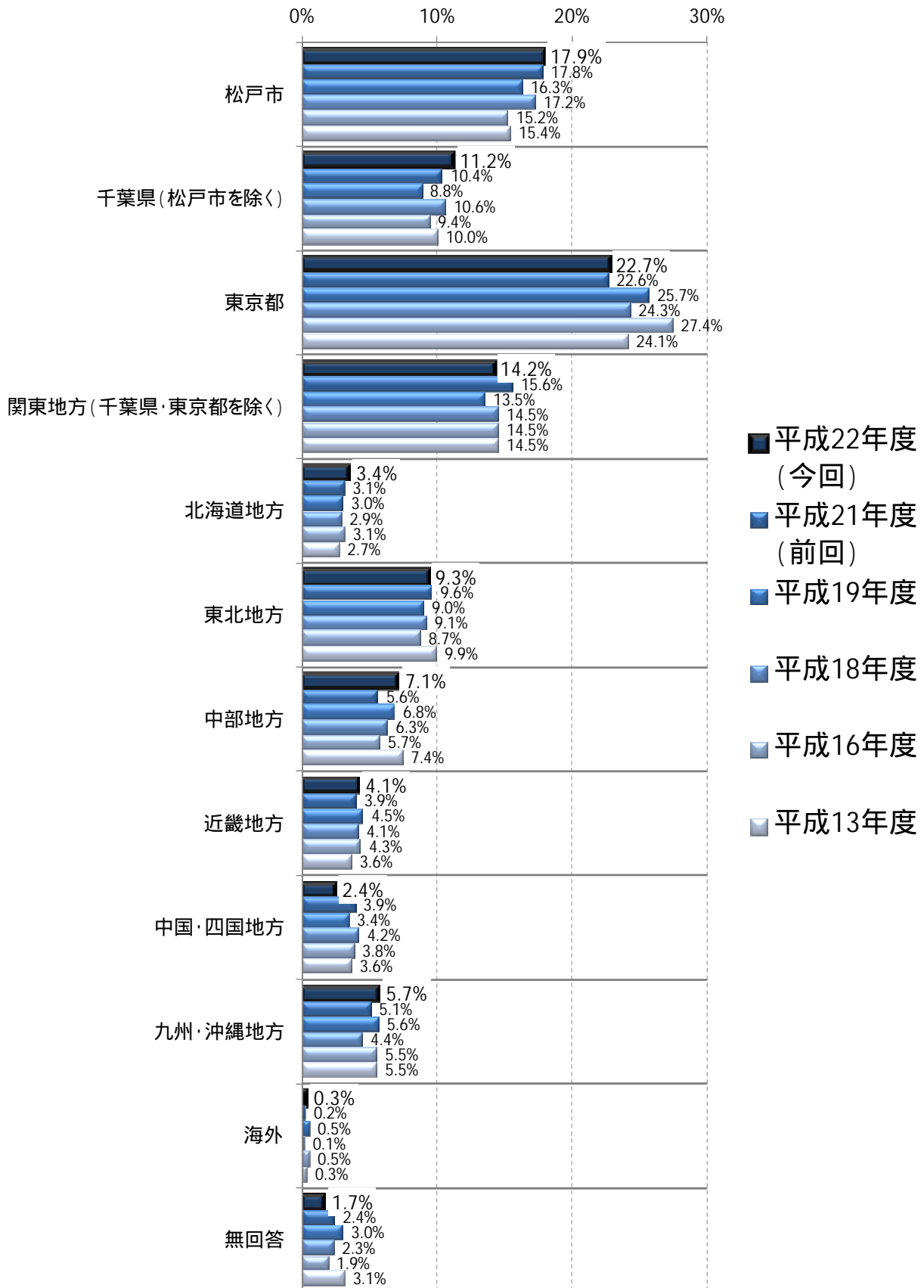
1 - 5 居住年数

回答者の居住年数は“20年以上”が60.6%で最も多くなっています。前回調査までは“20年以上”への回答の割合が毎回高まっていたが、今回調査では前回よりもわずかに回答の割合が減少しています。



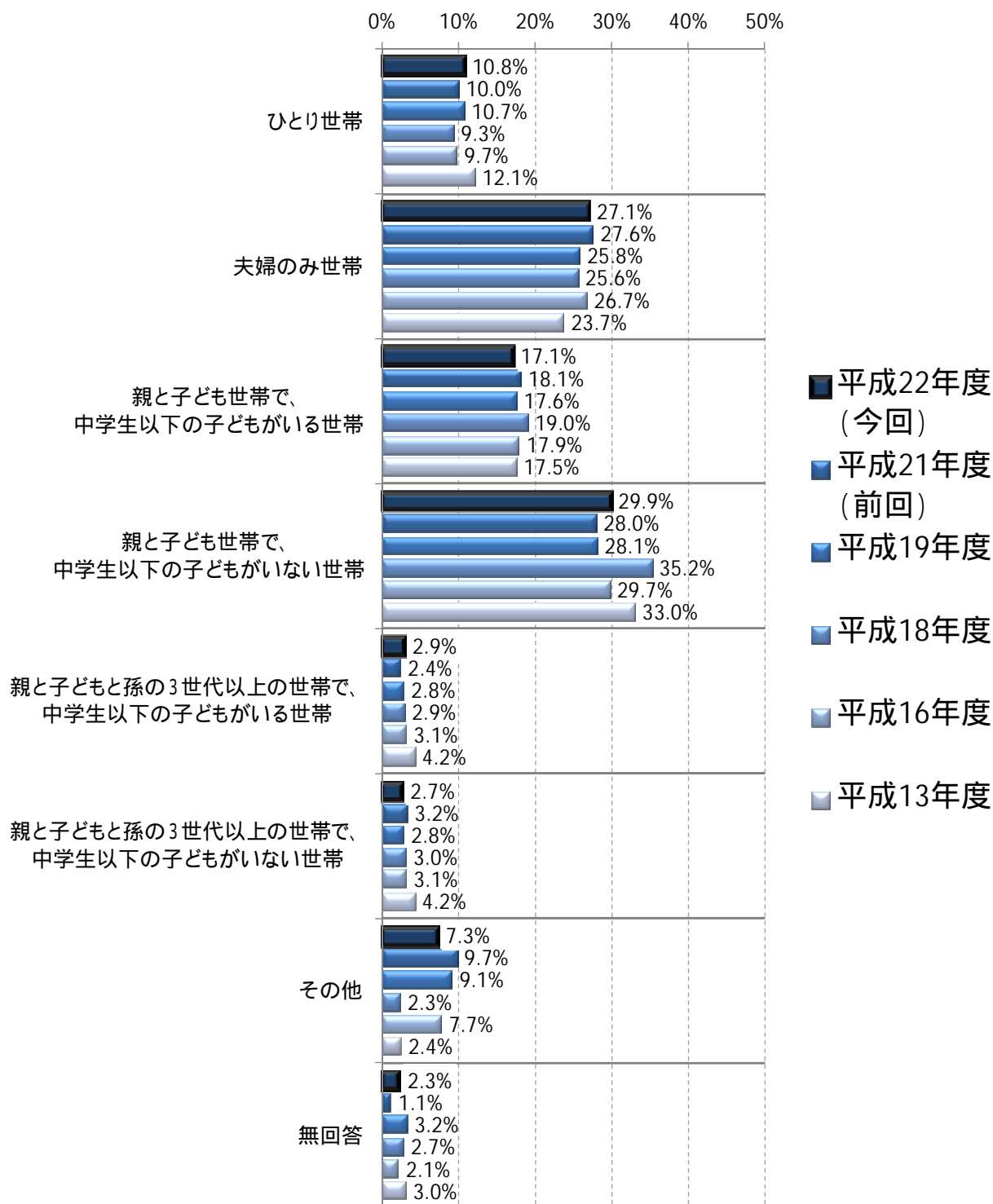
1 - 6 出身地

回答者の出身地は“東京都”が 22.7%で最も多く、次いで“松戸市”(17.9%)、“関東地方(千葉県・東京都を除く)”(14.2%)となっています。



1 - 7 家族構成

回答者の家族構成をみると、“親と子ども世帯で、中学生以下の子どもがいない世帯”(29.9%)と、“夫婦のみの世帯”(27.1%)が多く、次いで“親と子ども世帯で、中学生以下の子どもがいる世帯”(17.1%)となっています。



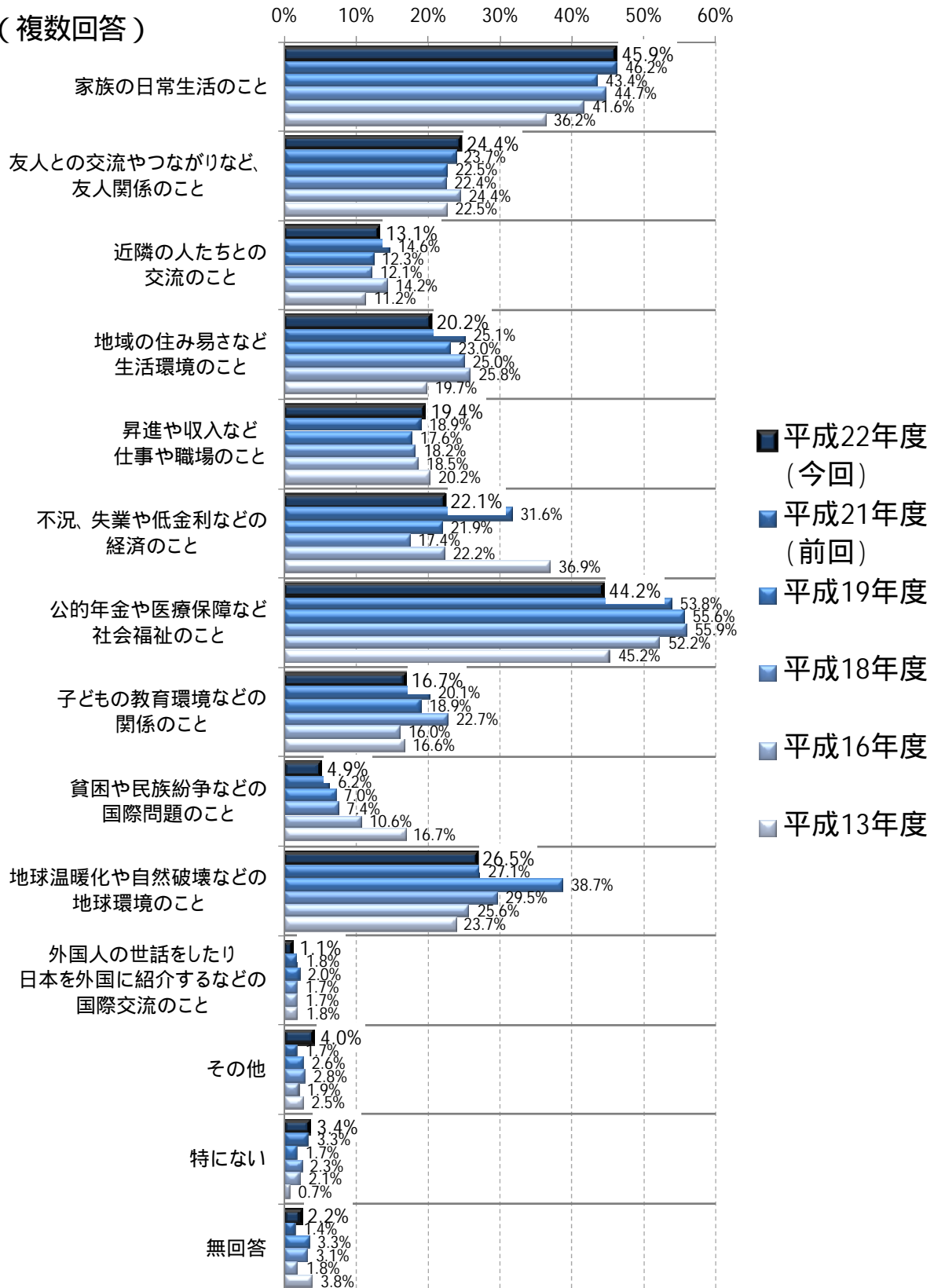
2 回答者の特性

2 - 1 興味関心

回答者の興味や関心をみると、前回調査と同様に“家族の日常生活のこと”（45.9%）と“公的年金や医療保障など社会福祉のこと”（44.2%）が多くなっています。

前回と比べると、“公的年金や医療保障など社会福祉のこと”への回答の割合は減少しています。

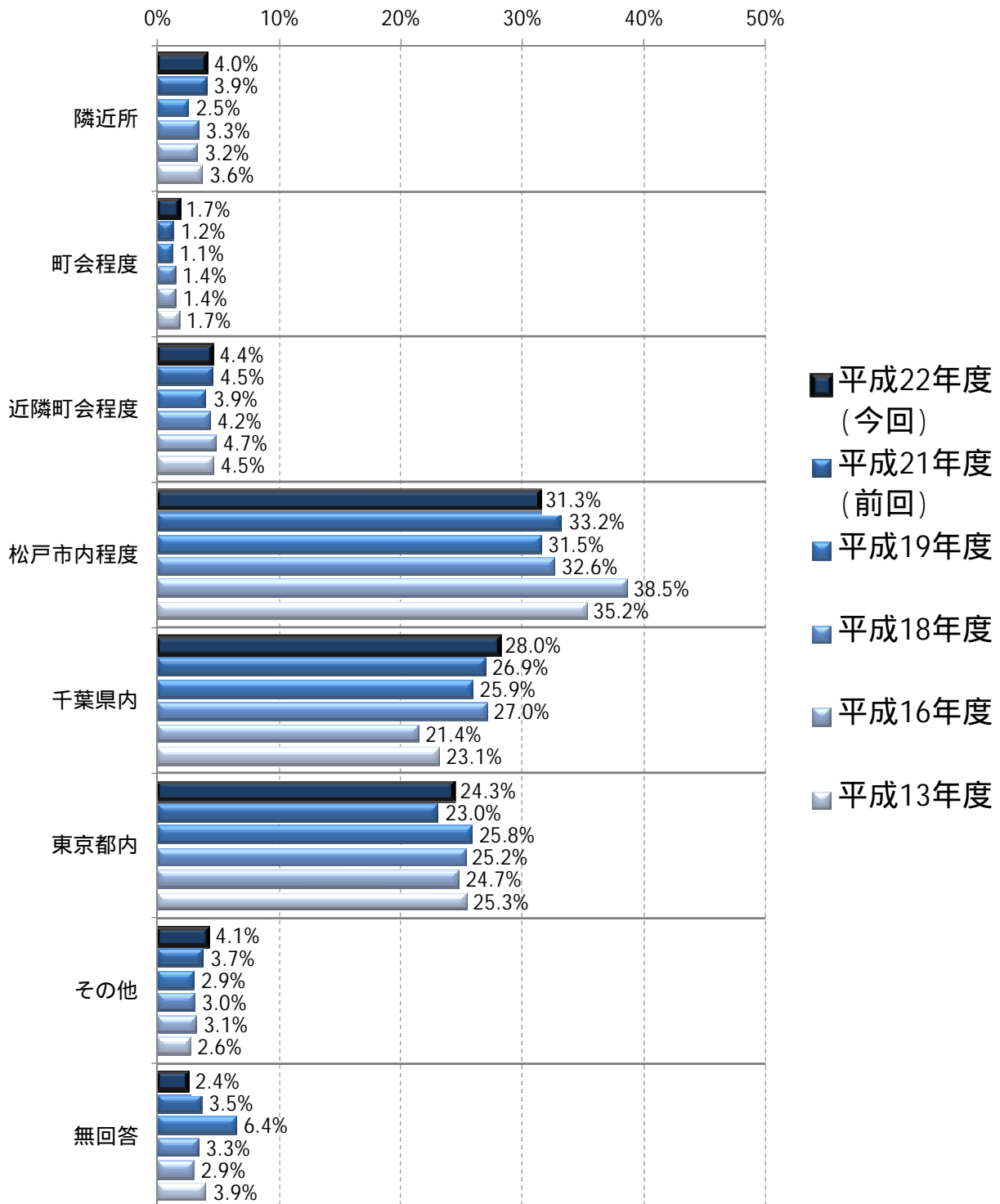
（複数回答）



2 - 2 日常的な行動範囲

日常的な行動範囲は、“松戸市内程度”(31.3%)、“千葉県内”(28.0%)が多く、次いで“東京都内”(24.3%)となっています。

前回調査と比べると、“松戸市内程度”への回答の割合がやや減少し、“千葉県内”、“東京都内”への回答の割合がわずかに増加しています。

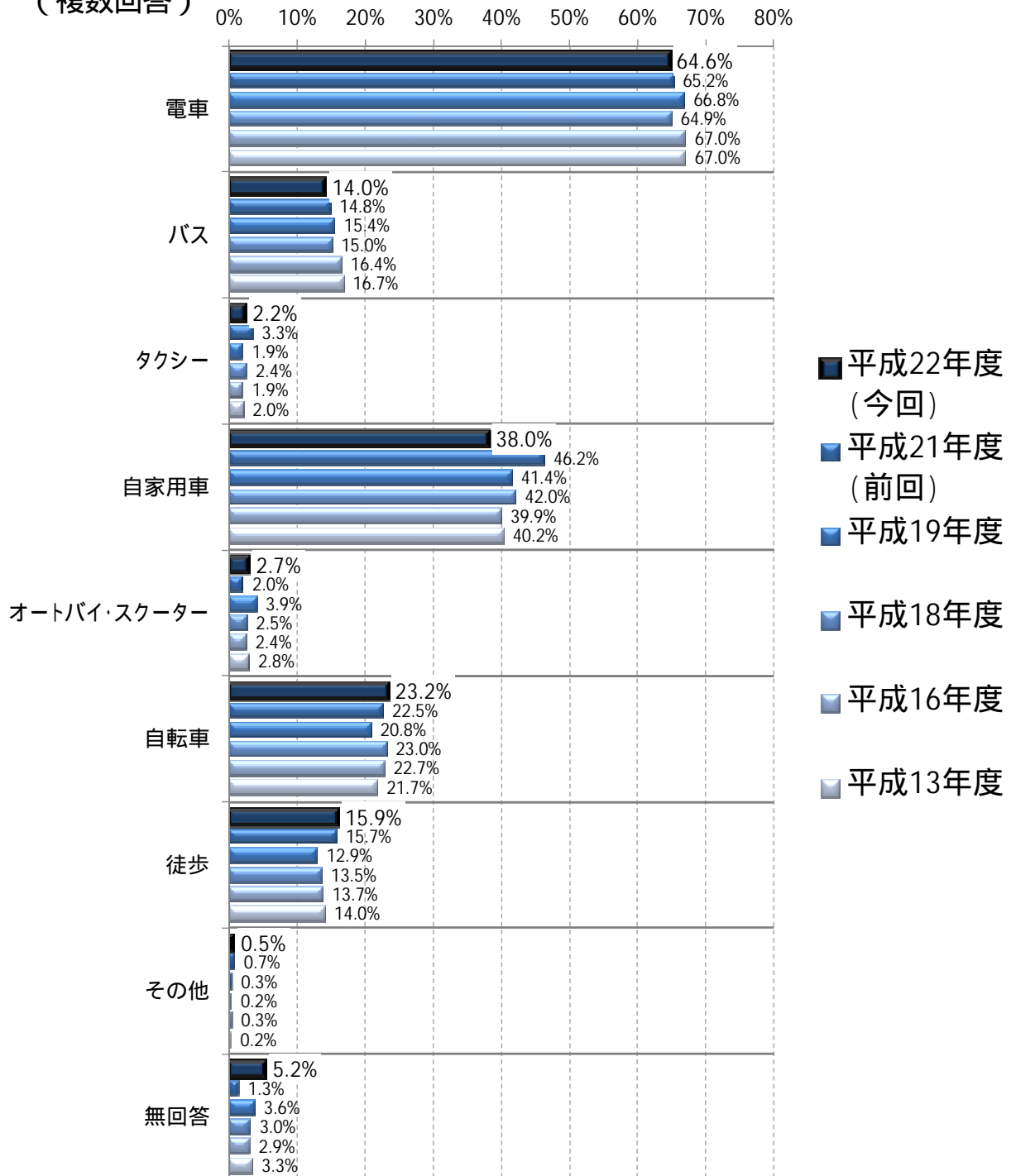


2 - 3 主な交通手段

回答者の主な交通手段は、“電車”(64.6%)が6割以上と最も多くなっています。次いで“自家用車”が38.0%、“自転車”が23.2%となっています。

前回調査に比べると、“自家用車”への回答の割合が減少し、“自転車”への回答の割合がやや増えています。

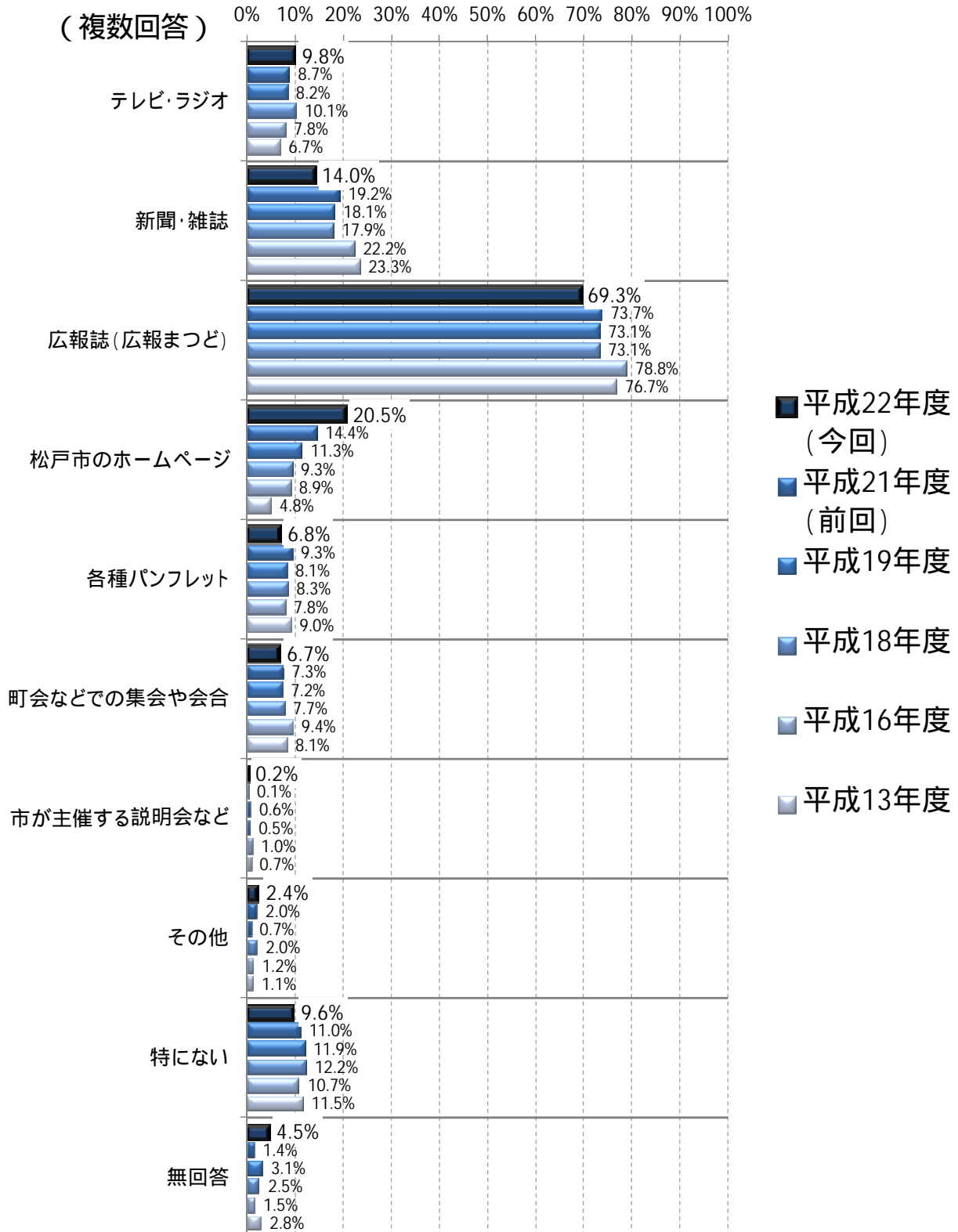
(複数回答)



2 - 4 行政情報の入手先

回答者の行政情報の入手先についてみると、“広報誌(広報まつど)”が69.3%で最も多くなっています。

“松戸市のホームページ”は調査ごとに回答の割合が増えており、今回調査では20.5%と2割を超え、“広報誌(広報まつど)”に次いで行政情報の入手先として活用されています。



2 - 5 行政サービスに対する満足度

行政サービスに対する満足度については、前回同様に“どちらとも言えない”(41.7%)が最も多くなっています。“あまり満足していない”、“ほとんど満足していない”への回答の割合は調査を重ねるごとに減少していますが、双方の回答をあわせると全体の3割以上は行政サービスに対して不満としています。

